

## 第2回シンポジウム

# 2025年度高校教科「情報」入試を考える

～思考力・判断力・表現力の教育／評価方法とCBT化～

2017  
11.26 (日)  
13:00～17:30  
受付開始 12:30

会場：大阪学院大学

2号館B1-02教室

JR岸辺駅、阪急正雀駅より徒歩5分

## 高校教員のみなさまのご参加を歓迎します！

この委託事業では、次期学習指導要領で内容が大幅に改定される「情報科」に関して、思考力、判断力、表現力を評価する試験問題およびコンピュータを用いた試験実施（CBT）を研究・開発しています。

このシンポジウムでは、本事業で考えている思考力、判断力、表現力を評価する試験問題やその作問方法などを説明し、高校での思考力、判断力、表現力の教育方法および評価方法との整合性などに関して意見交換します。

参加無料：事前登録制 先着250名

登録サイト：<http://www.uarp.ist.osaka-u.ac.jp/>



### プログラム

1	主催者挨拶	総司会	井上克郎	(大阪大学 教授)
2	会場提供校挨拶		尾上孝雄	(大阪大学 情報科学研究科長)
3	事業概説		菊野 亨	(大阪学院大学 コンピュータサイエンス研究科長)
4	模擬試験を実施するCBTシステムについて		萩原兼一	(大阪大学 特任教授)
5	模擬試験結果の分析について		植原啓介	(慶應義塾大学 准教授)
6	情報学の参照基準について		角谷良彦	(東京大学 特任講師)
7	評価のためのルーブリックと作題例について		萩谷昌己	(東京大学 教授)
8	高校での「情報科」における思考力・判断力 表現力の教育方法／評価方法の紹介		松永賢次	(専修大学 教授)
9	パネル討論 「思考力・判断力・表現力の教育方法／評価方法」		白井美弥子	(兵庫県立西宮今津高等学校 教諭)
10	閉会の挨拶		成瀬浩健	(京都女子中学校・高等学校 教諭)
			パネリスト	4～8の講演者 コーディネーター 萩原兼一
			東野輝夫	(情報処理学会 副会長／大阪大学 教授)

主催：文部科学省 大学入学者選抜改革推進受託事業

「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」

(大阪大学、東京大学、情報処理学会)

後援（申請中）：大阪府教育委員会 兵庫県教育委員会 京都府教育委員会 滋賀県教育委員会

奈良県教育委員会 和歌山県教育委員会 大阪市教育委員会 神戸市教育委員会

全国高等学校情報教育研究会 大阪府高等学校情報教育研究会 大阪私学教育情報化研究会

京都府私立中学高等学校・情報科研究会

理工系情報学科・専攻協議会 私立大学情報教育協会・情報教育研究委員会

問合先：大阪大学 大学院情報科学研究科（担当：影山 E-mail: k-naoko@ist.osaka-u.ac.jp）

大阪府吹田市山田丘1-5 TEL:06-6105-5904